

水はけのよい砂質圃場でも、灌水前に鎮圧を行うことで、よりムラなく処理することが出来た！ 処理後、全調査地点で植物寄生性線虫が不検出に！

処理条件

※灌水量が不明瞭なため、希釈倍率と希釈液使用量は推定値

- [面積] 432㎡
- [エコロジール使用量] 500L
- [土壌の種類] 褐色低地土、砂質
- [希釈倍率] 約80倍
- [処理期間] 2023/7/25~8/10
- [希釈液使用量] 約90L/㎡

処理の流れ

使用資材

方法：被覆後に希釈液を投入

- ①耕うん、均平化、鎮圧
- ②灌水チューブを敷設、被覆
- ③事前灌水
- ④エコロジールを希釈投入
- ⑤17日間被覆
- ⑥被覆除去
- ⑦耕うん、畝立て後定植

- [灌水チューブ] 15cmピッチの灌水チューブ
- [被覆資材] 農業用ポリエチレンフィルム
- [希釈投入方法] 灌水ポンプの吸い込み口手前にコックを取り付け資材を吸入させる方法

ポイント

水が抜けやすい砂質圃場だったため、鎮圧を行い、圃場の保水性を高めることで、よりムラなく処理することができた。

結果

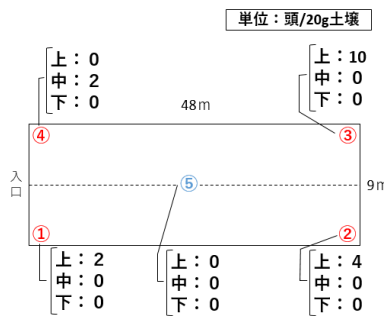
エコロジール処理前



細根にネコブセンチュウによるコブが形成されている様子（6月29日）

[圃場図]

口針あり線虫（植物寄生性線虫）の土壌線虫密度



上層：10~30cm
中層：40~60cm
下層：70~90cm

処理前、**5地点中4地点で植物寄生性線虫が検出された**

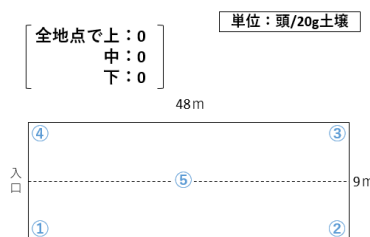
エコロジール処理後



定植後の様子（1月10日）

[圃場図]

口針あり線虫（植物寄生性線虫）の土壌線虫密度



上層：10~30cm
中層：40~60cm
下層：70~90cm

処理後、**全調査地点で植物寄生性線虫が不検出となった**

生産者のコメント

今のところ、順調で、線虫の被害はない（1月現在）。